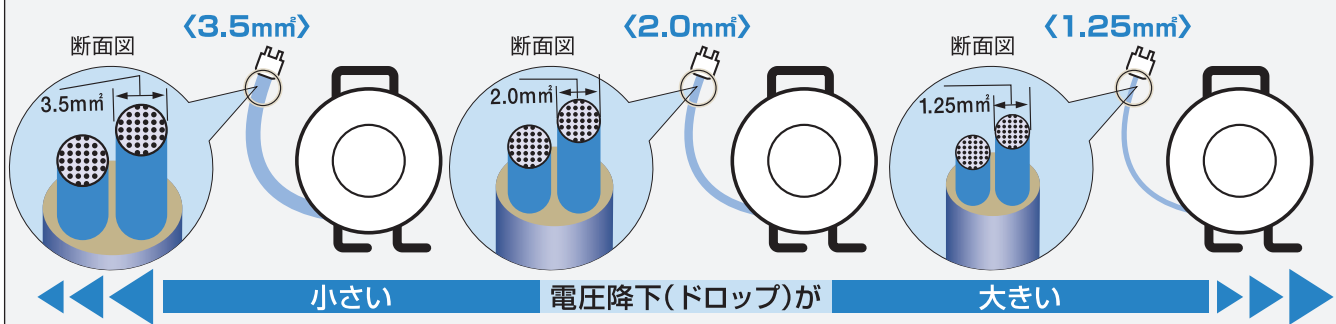


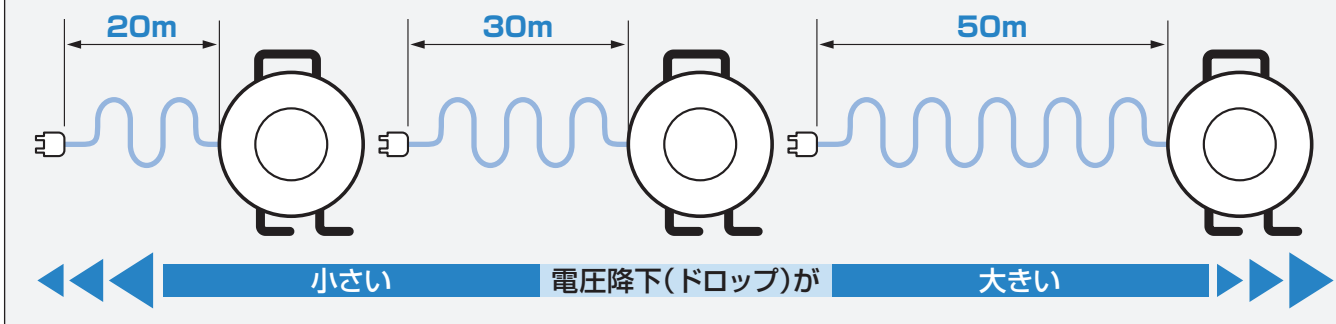
電圧低下について

電線に電流を流すと電圧低下(ドロップ)が発生し、電源電圧に比べてコンセントから取れる電圧は低くなります。電圧低下(ドロップ)は、電線が細いほど、または長いほど、使用電流が多いほど大きくなります。

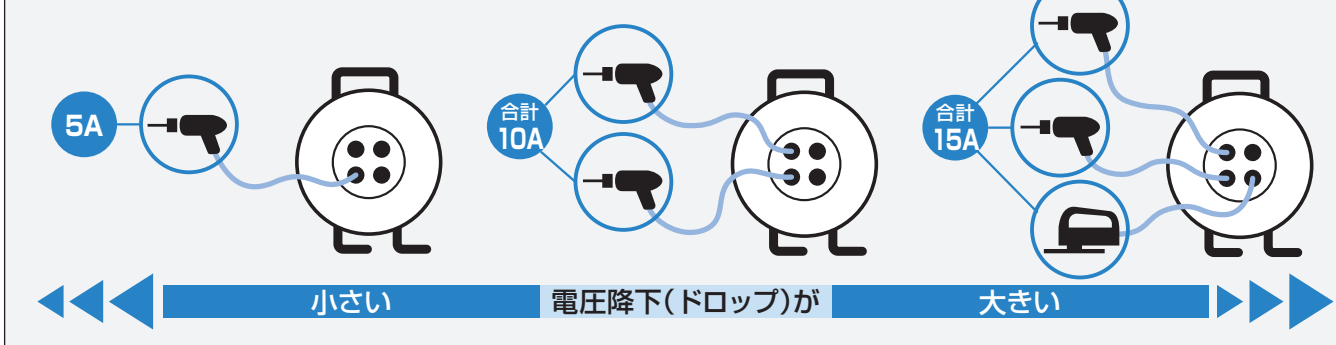
●電圧低下は電線が細いほど大きい



●電圧低下は電線が長いほど大きい



●電圧低下は使用電流が多いほど大きい



電圧降下について

電圧降下の計算式

e: 電圧降下(V)

A: 電線の太さ(SQ=mm²)

L: 電線の長さ(m)

I: 使用する電流(A)

●単相2線式の場合

$$e = \frac{35.6 \times L \times I}{1000 \times A}$$

●三相3線式の場合

$$e = \frac{30.8 \times L \times I}{1000 \times A}$$

例) 単相2線式にて

電線: 20m・0.75mm² 電流: 5Aの場合

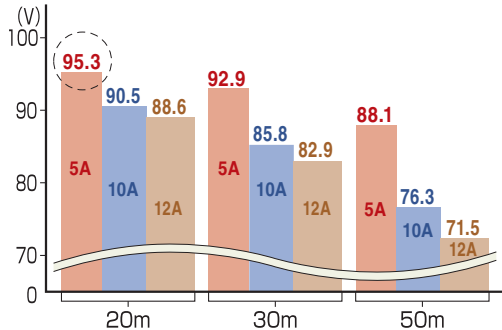
$$e = \frac{35.6 \times L \times I}{1000 \times A} = \frac{35.6 \times 20 \times 5}{1000 \times 0.75} \approx 4.7$$

$$100 - 4.7 = 95.3$$

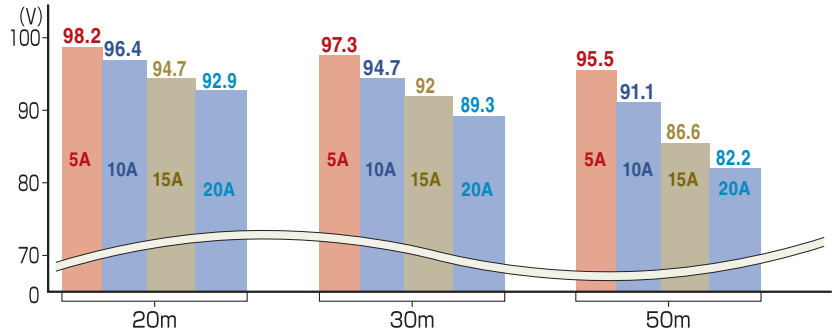
電圧降下(100V)グラフ

電源電圧が100Vの場合のコンセントから出力される電圧です。横軸に電線の長さを示しています。使用する電流量に応じてグラフを選んでください。

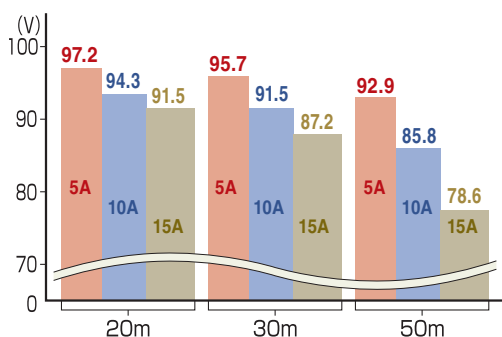
●太さ0.75mm²の場合



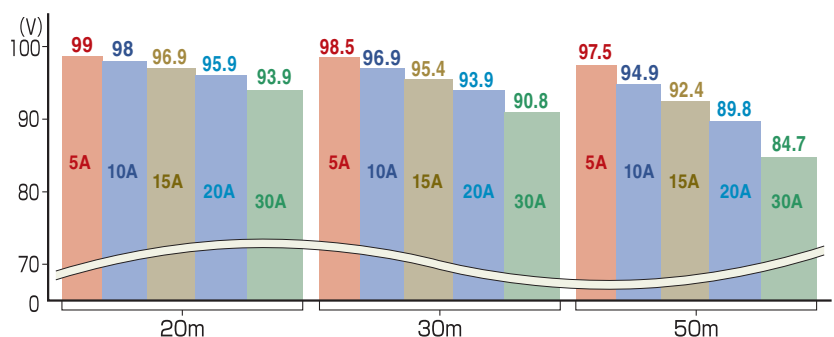
●太さ2.0mm²の場合



●太さ1.25mm²の場合



●太さ3.5mm²の場合



※表内表示の使用電流値は参考であり、実際にご使用になる場合は各製品に表示された定格電流値に従ってご使用ください。